



### 全米組織 USJETAA の取り組みについて

(一財)自治体国際化協会ニューヨーク事務所 所長補佐 伊藤 かわり (滋賀県派遣)、所長補佐 松本 達也 (さいたま市派遣)

#### アメリカの JETAA 支部の活動

JET プログラム同窓会組織 (JETAA) は、JET プログラムを終了した卒業生有志を中心に構成された親睦団体で、現在アメリカには 19 の支部が存在します。JETAA の各支部では、在外公館と連携して、大学などでの JET プログラムの広報宣伝、応募者への面接といった活動から、新規の JET プログラム参加者への出発前研修、帰国した JET 経験者へのキャリア支援を含めた事後フォローも行っています。

また JET プログラムのサポートだけでなく、海外での日本関連イベントにおいて日本文化の魅力発信や、日本の地方への観光客の誘致、アメリカへの地元の特産品の輸出促進の取り組み、姉妹州・都市などの交流活動への協力も行っています。

東日本大震災の際には、アメリカの JETAA の全支部が団結して募金活動を行い、8 万ドル以上の寄付金を集め東北復興のために寄付するなど、帰国後も日本との懸け橋として活躍しています。



JETAA による石巻市のボランティア活動

#### USJETAA の設立

2015 年 8 月に、JETAA 支部とは別に、全米組織として USJETAA が設立されました。JETAA の支部はそ

れぞれの管轄地域が限定されているため、今まで、アメリカ国務省や日米交流財団などの関係団体が、JETAA と連携して事業を実施しようとしても、その窓口になるような組織がありませんでした。

JETAA のアメリカ全支部の総意で行った東日本大震災の募金活動の際に、アメリカ国務省や日米交流に携わる多くの関係者から、専属の事務局職員を有し、かつ寄付金控除 (税制上の優遇措置) の対象となる NPO 法人として全米組織を設立する必要性が指摘されたことを契機として、全米組織設立に向けた機運が高まりました。

そこで JET プログラム経験者の 1 人で、日米交流財団 (USJBF)、日米友好基金 (JUSFC) および日米文化教育交流会議 (CULCON) の事務局長を務めるページ・コッティンガム・ストリーター氏 (三重県 ALT 1988-1989) を中心としたチームにより手続きが進められ、同氏は、日米交流財団を代表する立場として「JETAA のネットワークの強化と次世代リーダーとの連携」というプロジェクトを立ち上げ、国際交流基金の助成金を活用しながら、全米組織設立に向けたさまざまな活動を続けました。

その後、3 人の JETAA アメリカ国代表や各支部役員



2015 年 8 月に設立された USJETAA のロゴ

の有志により構成されたワーキング・グループで、JETAAの全米組織設立についての議論が重ねられ、支部間のネットワーク強化および情報共有などを目的とする組織として、USJETAAがNPO法人として正式に設立されました。

## USJETAAの構成役員

USJETAAは、先述したペイジ・コッティンガム・ストリーター氏が代表となり、副代表には、日本国際交流センター米国法人の事務局長を務める、ジェームス・ギャノン氏（愛媛県 ALT 1992-1994）、そのほかにもJETAAアメリカ国代表のモニカ・ユキ氏（埼玉県 ALT 2002-2004）などが役員となっています。また、事務局長を務めるローレル・ルカシャブスキー氏（鹿児島県 ALT 1990-1992）は、長年にわたるJETプログラムへの貢献が評価され、2016年8月に外務大臣から表彰を受けるなど、各役員はJETプログラムを卒業した後においても、日米関係の絆を強める活動を続けています。



ルカシャブスキー氏の表彰の様子

## USJETAAの活動

### ① JET 経験者のデータベース作成および

#### 経験者の掘り起こし

USJETAAは、JET経験者の氏名、赴任先、赴任期間などの情報をとりまとめたデータベースを作成する予定であり、JETAA活動に従事していないJET経験者の掘り起こしを行っています。具体的には、ウェブサイト上でメンバーシップ（年会費制）への登録を行うことがで

きるようにしています。無料と有料の数種類の登録方法があり、金額に応じて特典が異なります。特典としては、ウェブサイト上での会員名簿の閲覧やUSJETAAの主催する会議やセミナーにおける会費の割引などが挙げられます。メンバーシップの登録については、住所、メールアドレス、JETプログラム参加年、赴任地といった基本情報から、支部への所属の有無、支部役員経験の有無、日本語能力のレベル、学歴などの情報を任意で入力することができ、登録時に、どの情報をウェブサイト上で公開するかを予め選択することができます。JETAAに加入していない各分野で活躍するJET経験者の掘り起こしや多彩な才能を持つJET経験者同士が交流を持つことを可能とするこのデータベースは、USJETAAがJETAAの各支部やJET経験者に提供するメリットの1つとして考えられます。



ニューヨークでのUSJETAAへの参加啓発イベントで説明を行うストリーター氏（右）とルカシャブスキー氏（左）

### ② JETAA 各支部への助成支援

USJETAAはJETAA支部間の連絡調整や情報共有の促進など、JETAA支部の活動を横断的に支援し、日米関係の強化を推進しています。具体的には、公益財団法人笹川平和財団と協力し、JETAA支部が行う新規のイベントや、JETAAの連携を強化する活動などに対して、助成金の交付を行っています。また、日米の関係機関や、大学などが実施する助成金制度など、JETAA支部が活用することができる制度について情報を提供しています。

### ③ ウェブサイトやソーシャルメディアによる情報発信

USJETAAは、日米の交流やJETプログラムに関係



「Change the World with Onigiri」キャンペーン

する情報、日本に関係するイベント情報などを広く発信しています。例えば、JET プログラム参加者の公募情報やJET 経験者に向けた求人情報などをウェブサイトやFacebook などを通じて共有し、JETAA 支部やJET 経験者のサポートを広く行っています。

また、国連が制定する世界食料デーに合わせて2016年10月11日から11月30日までの間、TABLE FOR TWO Internationalが行うキャンペーン、「Change the World with Onigiri」の紹介を行っています。TABLE FOR TWO Internationalはもともと日本で創設された開発途上国の飢餓などの解消に取り組むNPO法人であり、同キャンペーンは、2015年にも行われました。誰でも参加することができ、おにぎりにまつわる写真をキャンペーンサイトやSNSに投稿すると、一枚につき5食分の給食が、スポンサー企業から給食を必要とする子供たちに対して届けられます。

#### ④北米におけるJETプログラム30周年記念事業

日本では、先日11月7日にJETプログラム30周年記念式典が行われたところですが、北米では2017年を30周年とし、各地でイベントが開催される予定です。2016年9月に、アメリカのJETAA全19支部の代表およびカナダのJETAA国代表などが集まり開催されたJETAAアメリカ地域会議で、USJETAAは、2017年夏に、JETAA支部会員や米国のJET経験者に限らず、JET経験者再会の機会として、世界中のJET経験者が幅広く参加できる30周年記念イベントを開催する予定である旨を発表しました。イベントの企画にあ

たり、USJETAAがSNSでJET経験者に対しアンケートを実施しており、2016年9月末時点では、回答者の約96%がこのようなイベントに興味があるとの結果が得られたとのことです。具体的なイベント内容は、こうしたアンケートの結果などを踏まえ今後決定されることとなりますが、USJETAA設立後、同組織が自主的に開催する初めての大規模なイベントとなります。

設立して間もないUSJETAAですが、JETAAの活動のサポートのみならず、JETプログラムの発展には欠かせない団体です。CLAIRとしてもUSJETAAの活動を支援し、2017年に行われる30周年のイベントも含め、今後もUSJETAAとの連携を図っていきたいと考えています。

【参考】USJETAA

ウェブサイト：<http://usjetaa.org/>

Facebook：<https://www.facebook.com/USJETAA.org>